

教職課程関連

ND教育センターでは、教職課程に関するサポートを行っています。
2024年度は新たに救命講習会を実施し、教育現場で必要な知識習得の機会を設けました。進路サポートとして、教員採用試験・教師塾・教職大学院の説明会も実施しました。また、ボランティア・講師登録等の情報の案内もしています。

主なイベント実績

●京都市教員採用試験説明会(京都市教育委員会)

日 時:10月30日(水)16:40～17:40
参加学生数:5名(3年次:3名 2年次:3名)

受講生の声 チャレンジ選考について詳しく聞けたことがよかったです。

●京都府教員採用試験説明会(京都府教育委員会)

日 時:4月17日(水)16:40～17:40
参加学生数:2名(4年次:1名 3年次:1名)

日 時:11月27日(水)16:40～17:40
参加学生数:3名(3年次:3名)

受講生の声 合格基準等の詳しい説明をして頂いたおかげで、一次試験の仕組みについて知ることが出来ました。また、個別の質問にも丁寧に答えてくださったのがとても印象に残っています。

●京都教師塾説明会(京都市教育委員会)

日 時:6月26日(水)16:40～17:40
参加学生数:2名(3年次:1名、2年次:1名)

受講生の声 教師塾を実際に体験した先輩が体験した内容を説明して下さったことがよかったです。教師塾で学んだ内容が具体的に分かって、先輩が堂々と前で話していたことが学んだ成果なんだろうなと分かったこともよかったです。

●滋賀の教師塾説明会(滋賀県教育委員会)

日 時:7月3日(水)16:40～17:40
参加学生数:1名(3年次:1名)

受講生の声 質問に対して詳しく答えてくださったり、緊張が和むような笑顔で話してくださったりしたところがよかったです。大学での学びと教師塾での学びの違いを知ることができて、教師塾に興味が湧きました。

●教職大学院説明会(立命館大学・京都教育大学)

日 時:3月13日(木)10:40～11:00(立命館大学)
12:20～12:40(京都教育大学)

参加学生数:3、4次年生(小・中・高免許取得希望者)

●教職大学院説明会(立命館大学)

日 時:6月19日(水)16:40～17:40
参加学生数:5名(4年次:1名、3年次:3名、2年次:1名)

受講生の声 教職大学院とは、どのようなところかを知ることができてよかったです。また、立命館大学の教職大学院の魅力も知ることができました。

●3月 救命講習会(学内実施)

2025年度教育実習が予定されている学生を対象に、左京消防署員の方にご指導いただき、AED操作、心肺蘇生法を含む救命講習を実施しました。

日 時:3月18日(火)13:30～15:30
参加学生数:23名(主に2025年度前期の教育実習予定者)



編集後記 ND教育センター副センター長より

2025年4月、世の中はGW気分なのに大学では授業をしていた日に、1983年の米国映画"WarGames"(邦題:ウォー・ゲーム)を学生と一緒に観ました。観た場所は、学内にある大画面で音響バツグンの階段教室"NDホール"。「まるで映画館やん!」とある学生が呟いたほど、ステレオサウンドが大教室の右や左から聞こえました。

この映画、パソコン少年が偶然に米国防省の軍事コンピュータにアクセスしてゲームをしたところ、第3次世界大戦が起こりそうになるという内容です。若かりし頃に映画館で観た時は、コンピュータが意思を持ってゲームに勝とうと動き出すことに現実味はなく、当然「SF映画」に分類されていましたが、今のAI時代ならありそうな話です。ストーリーも秀逸ですし、1983年当時の大型計算機や、自宅からのパソコン通信アクセス画面なども見れます。次回の映画鑑賞会にもNDホールを使いたいです。お勧め映画があったら教えてください。

副センター長 吉田智子

2024年度
ND教育センター活動報告

2025年5月1日発行

ごあいさつ

ND教育センター長 神月 紀輔

2024年度の総括を行い、その活動を報告させていただきます。共通教育・教育開発・教職関係と3部門にわたって、関係の教職員の皆様の協力のもと、この報告書にあるような内容を進めることができました。ご協力いただいた教職員の皆様には厚くお礼を申し上げます。

先日、2026年度入試に関して募集停止が発表されました。しかし、現在本学に入学している学生さんの本学の教育課程の提供は止まることなく進めていきます。学生さんが自己実現を目指し、この大学で何らかの形で学び、自分の将来を見つめる時間を提供していきたいと考えます。2025年度は初年次教育を中心とした教育内容の改革をおこなっております。少しでも学生さんたちの学びが進むようさらに尽力してまいりたいと思います。

2025年5月1日

DX推進チーム「分析ツールQlik Sense勉強会」を実施(オンライン)

GAKUEN、manaba、電子教材・教科書やその他の教学に関わるさまざまなデータを活用して分析し、教育の高度化に生かす活動「NDDEEP (Notre Dame Data-driven Education Enhancement Project)」を西日本電信電話株式会社、丸善雄松堂株式会社と共同で進めています。データ分析ツール「Qlik Sense」を用いて、どのように可視化・分析を行い活用していくのかなどを考える勉強会を定期的に開催しています。

国家資格の「ITパスポート試験」ガイダンスを実施「情報処理技術者試験の内容と企業の活用について」

情報処理技術者試験の実施団体である、独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) より講師を迎え、学生に対してITパスポート試験を中心とした情報系の国家資格が社会で必要とされている背景や試験内容のガイダンスを実施しました。

日時: 4月10日(水) 11:45～12:15
14:10～14:40
16:35～17:05
講師: 独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) 笠井優一氏
参加者数: 36名

学内研修会「小規模女子大学のDX推進計画奮闘記」

DXによる学修者本位の学修の実現とDXによる効果的で質の高い学修の実現のため、京都ノートルダム女子大学では、DX推進計画を策定し取り組んできました。さらなるDX推進のため、バージョンアップした「京都ノートルダム女子大学DX推進計画(第II期)」とともに、これまでの取り組みを振り返り、成果や反省点、本学のデータサイエンス教育の現状について報告しました。

日時: 12月18日(水) 17:00～18:30
参加者数: 16名(学外2名、専任教員1名、職員・法人等13名)
プログラム:
・17:00～17:20 京都ノートルダム女子大学DX推進計画について
神月 紀輔 (現代人間学部こども教育学科教授 学長補佐・ND教育センター長)
・17:20～17:40 ゆるく活動するIR「NDDEEP」の現在地
小林 忍 (事務局次長・戦略企画室長・教育支援部長)
・17:40～18:00 本学のデータサイエンス教育の現状
吉田 智子 (社会情報課程教授 ND教育センター副センター長)
北村 美穂子 (社会情報課程特任教授)
・18:00～18:10 質疑応答
・18:10～18:30 情報交流会



数理・データサイエンス・AI教育の
高大連携授業公開
「AIとデータサイエンス超入門～身近なデータで体感してみよう～」を実施

ノートルダム女学院高等学校ブレップ総合コース2年生の連携授業「みらいデザイン☆ハイスクール」の一環として、身近なデータを使ってAIやデータサイエンスを体感しました。AIはチョコレート菓子「きのこの山」と「たけのこの里」を正しく判別できるでしょうか? 文字データを視覚化したワードクラウドはどのように作られているのでしょうか? 各自のスマートフォンで実際に手を動かしながら、そのしぐみを学ぶことによって、楽しくAIやデータサイエンスの基礎を学びました。

日時: 2月14日(金) 14:00～15:30
参加者: 生徒約60名

学習アドバイジング

・文章作成の基礎づくり
希望者を対象にセンターが提供する文章作成に関する課題に取り組むことにより、苦手意識を克服し、段階的に基礎を身につけていく学習サポート「文章作成の基礎づくり」をmanabaで行いました。(参加者42名)

課題1. レポートにふさわしい文体ー「である」体を使うー
課題2. 文語を使うー1ー
課題3. 品詞をそろえる
課題4. 文語を使うー2ー
課題5. 句読点の使い方
課題6. 括弧(かっこ)の使い方
課題7. 長文に注意ーねじれ文・違和感のある文ー
課題8. 主語と述語を合わせる(ねじれ文・単文バージョン)

・文章作成の基礎に関する相談
対面による相談をND教育センター事務室で実施しています。

ノートルダム女学院高等学校との連携授業

ノートルダム女学院高等学校ブレップ総合コースの生徒を対象に、連携プログラムを実施しています。2024年度は、以下のとおり実施しました。

・高校1年生対象
6月25日(火) 14:00～15:30
自己探求としての「リフレーミング」(仲倉高広 特任講師)

10月1日(火) 13:45～14:45、15:00～16:00
専門領域への理解を深める(鎌田均 教授・河野有時 教授・薦田未央 教授・田口茂樹 教授・藤原智子 教授・太田容次 准教授・喜多容子 准教授・安川涼子 准教授・武藤翔太 特任講師)

2月4日(火) 14:00～15:30
女性の生き方とキャリアを考える①(青木加奈子 准教授)

・高校2年生対象
9月6日(金) 14:00～15:30
女性の生き方とキャリアを考える②(平野美保 教授)

12月14日(土) 13:30～17:30
みらいデザイン☆ハイスクール
(企画・運営: 濱中倫秀 准教授・キャリア形成ゼミ受講生)

2月14日(金) 14:00～15:30
みらいデザイン☆ハイスクール
「AIとデータサイエンス超入門～身近なデータで体感してみよう～」
(北村美穂子 特任教授、金光安芸子 客員教授)

入学前教育実施報告

高校での学びから大学での学びへスムーズに移行できるよう、入学予定者を対象に入学前教育・講座を実施しました。

・入学前課題
入学予定の学科について、さらに関心を高めるため、学科・学環ごとに設定された課題に取り組み教員と書簡でのやりとりを行いました。

対象入試: ノートルダム女学院高等学校内部進学推薦、指定校推薦、総合型Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期・連携校対象、学校推薦、基礎学力重視、外国人留学生
提出率: 94.7%(対象者133名、提出126名)

・スクーリング(2月17日(月)・18日(火)実施)
ノートルダム女学院高校及び高大連携校13校からの早期入学予定者を対象とし、入学前に大学の授業を体験することで不安を解消するとともに大学で学ぶことの意味を考え、入学後の授業理解に役立てる講座を実施しました。

対象入試: ノートルダム女学院高等学校内部進学推薦、指定校推薦、総合型Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期・連携校対象、学校推薦、基礎学力重視
参加率: 65.9%(対象者44名、参加者29名) 連携校以外からも5名参加

17日(月)
・10:30～10:40 開講式・学長メッセージ
・10:40～11:10 京都ノートルダム女子大学について
・11:20～12:20 大学での学び方・新入生のためのカリキュラム講座
・13:10～14:10 Enjoy English
・14:20～15:00 大学生のためのノート・レポートの書き方
・15:10～15:40 図書館の活用法
・15:40～16:30 キャンパスツアー
・10:40～11:10 保証人向け説明会: 自律・自立のためのサポート

18日(火)
・10:00～11:35 卒業研究発表会
・11:35～11:45 修了式

受講生の声(アンケートより)
・学長先生の想いがしっかり伝わりました。このお話を今後に生かそうと思いました。
・ノートルダムやキリスト教について全然知らなかったもので、初めて聞くことばかりでおもしろかったです。
・同じ学部に入學する人たちでお話する機会があつてうれしかったです。
・先輩の卒業研究を参考に私も頑張りたいと思いました。



・入学前準備基礎講座(東進ハイスクール(ナガセ)提供通信講座)
希望者を対象に、業者が提供する通信講座(受講者負担「キャリアに役立つ数学力」「数学的思考力入門」「国語標準(要約編)」「使える基礎英語」「TOEIC標準講座(600点突破)」)を推奨しています。

対象入試: ノートルダム女学院高等学校内部進学推薦、指定校推薦、総合型Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ期・連携校対象、学校推薦、一般Ⅰ期、大学入学共通テスト利用Ⅰ期、外国人留学生
受講率: 7.5%(対象者146名、受講者11名)

ノートルダム女学院高等学校および高大連携校対象
特別科目等履修「英語表現Ⅰ」

特別科目等履修生として本学正規科目「英語表現Ⅰ」を受講するプログラムです。履修し合格すると「特別科目等履修生単位修得証明書」が交付され、本学に入学後の申請により「英語表現Ⅰ」(1単位)が認定されます。

スケジュール時間割 (担当: 東郷多津 教授・Steven Herder 教授)
第1～4回: 3月3日(月) 1講時～4講時
第5～8回: 3月4日(火) 1講時～4講時
第9～12回: 3月5日(水) 1講時～4講時
第13～15回: 3月6日(木) 2講時～4講時
(1講時9:00～10:30、2講時10:45～12:15、3講時13:10～14:40、4講時14:55～16:25)

学部横断プログラム関連

・情報活用カプログラム
情報社会において必要な情報科学の知識・技能を身につけるとともに、それらが社会に与える影響を理解した上で、新たな情報を作り出し、課題を発見し、その解決に向けて主体的に解決策を検討し、実践できる人材の養成を目的とします。
本プログラムは、「数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)」(通称 MDASH)にも認定されています。

修了者数: 13名

・日本語教員養成課程
日本語教員とは、外国人の留学生や労働者、またその家族など、日本語を母語としない学習者に日本語を教える教員のことです。所定の単位を修得した学生には、学長名で「日本語教員養成課程修了証」を卒業時に交付しました。

修了者数: 7名

・登録日本語教員養成機関の登録について
学校法人ノートルダム女学院は令和6年度1回目の登録日本語教員養成機関にかかる申請を行い、登録日本語教員養成機関として登録されました。令和7年度以降の入学者が本学の全学プログラムである「日本語教員養成課程」を修了すると、登録日本語教員になるための日本語教員試験のうち基礎試験が免除されます。

・登録日本語教員の資格取得に係る経過措置について
本学「日本語教員養成課程」(令和2年4月1日～)は「必須の教育内容50項目に対応した日本語教員養成課程等」として、また「日本語教員養成課程」(平成20年4月1日～)は「平成12年報告に対応した日本語教員養成課程等」として確認されました。これにより、当該期間に課程を修了した方は、登録日本語教員の資格取得に係る経過措置を受けることができます。